

佳作 かぞく



ドー タット バン

DO TAT BANG

国 籍 ベトナム

職 種 溶接

実習実施者 村田機械株式会社

監 理 団 体 アクティブ・アジア交流事業協同組合

私はつまと二人のむすめをもつ小さなかぞくのだいきくばしらす。ちほうに住んでおり、いなかでの私のかぞくのせいかつはよいいではなく、しゅうにゆうがふあんでいす。

子どもたちがせいちょうするにつれ、せいかつしていくのにひつようなしゅっぱもふえてきます。つまと私はいつも、子どもたちがべんきょうにとりくめるようにさいぜんをつくしていますが、けいざいてきによゆうがなくまい日、にがおもいす。

私は日本に来るまでベトナムでさまざまなしごとをしてきました。けんせつぎょうからタクシーのうんてんしゅまでいろいろけいけんしました。しかし、ちょきんがたまることはなく、その日一日をすごしていくのにやっとでした。むすめがせいちょうしていくのを見て私は、むすめたちのしょうらいがまずしいものにさせたくないとおもいました。

そこでなんどもつまとはなしあい、私は日本へじっしゅうせいとしてはたらきにいくことをけついしました。このけつだんはけっしてかんたんなものではありません

せんでした。なぜなら、私はあいするかぞくからはなれなければいけないことをしていたからです。さらにかていの中のせきにんをすべてつまにせおわせることになるからです。しかし、私がかせがなければつまやむすめたちによいくらしができないことをいちばんしっています。

日本にいくためにつまとむすめたちとのわかれの日がやってきました。とてもさびしいきもちでいっぱいでしたが、私はかぞくのまえでなきませんでした。つまをしっかりとさしめました。子どもたちにはよくべんきょうして、母のはなしをきくようにとつたえました。私はいっしょうけんめい、日本ではたらき、いえにおかねをおくるようにやくそくしました。すうねんど、子どもたちがねっしんにべんきょうできるかんきょうをつくり、つまのふたんもすくなくし、私のかぞくがいまよりもよりよいものになることをねがっています。

日本でのせいかつはときどきつかれてたいへんですが、つまとむすめたちとでんわをし、はなすたびにゆうきづけられがんばることができています。今がくるしくても、かぞくのためによりあかるいみらいをひらいていけるとしんじています。